

児童・生徒の作品コーナー

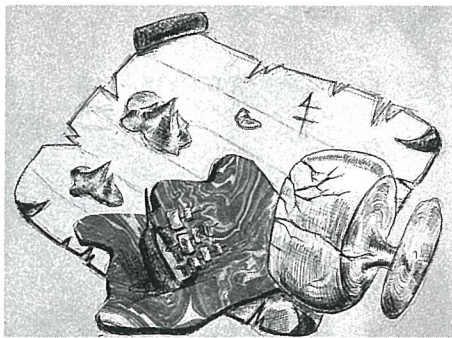


光中学校生徒の紹介



2年1組 鈴木 崇君

※マーブリングとガラスの形をとるのが難しかったです。

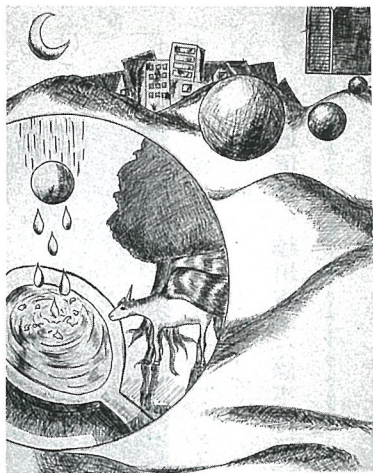


イメージ画『孤独』



2年2組 高橋由佳さん

※ペンで書くときは難しかったが、色ぬりは楽しかったです。



イメージ画『神秘』



我が家の家庭教育

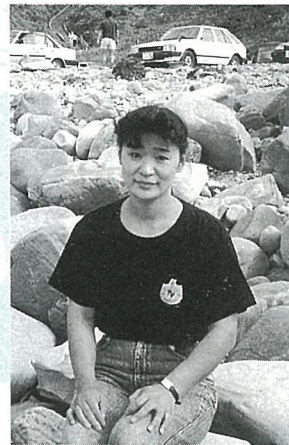
小川台 青木享子

我が家の家族構成は、85歳の祖母を頭に両親と私たち夫婦と子供2人の7人です。中学1年の長男はおとなしく、小学校4年生の長女は明るく活発な子と人から言われます。家庭では、大人5人に対して子供が2人となると、気付

かない内に過保護になっていくようで、2人共依頼心が強く、嫌になるとすぐ投げ出してしまふ傾向があります。これは、私の躰の仕方が悪かったとあきらめつつ、子供にも手が掛からなくなり、両親もいてくれるので安心して働けると思

親子のコミュニケーションの大切さ

い、4年ほど前にやりがいのある仕事を求めて、着付の講師を始めました。この仕事を始めてみると、色々な人との出会いがあり大変楽しい仕事でした。しかし、朝から夜遅くまで時間に制限がなく、また、人に教える為には自分も勉強するので、子供たちと過ごす時間がすつかり減ってしまいました。主人は、働き盛りの年代で、子供たちが寝る頃に会社から帰り、学校へ行く頃に起き出す、すれ違いの生活が多く、過保護に加えて私たちの放任が重なり、家ではだんだん自分勝手な反抗的な



「親子で過ごす時間が減りました。」青木さん

子供たちは、親よりも友達といる方が良い年頃になってしまい、こんな事で何年も掛かって形成されてしまった性格が、すぐに良い方向へ変わるとは思いませんが、未完成

な子供には、しっかりと見守って指導する者が必要だという事を、我が子を通して教えられました。失敗ばかりで、ただ今やっと親子のコミュニケーションの大切さを知り、再び家庭教育の原点にもどった所です。これからも、毎日成長する子供たちが現在どういう状態なのか、常にあなたがたく見守れています。